

ニュースリリース:

フォーティファイ・ソフトウェア
アプリケーションセキュリティ対策 3製品をリリース

フォーティファイ・ソフトウェア株式会社(東京都港区 代表取締役社長 遠藤 玄声/以下、フォーティファイ)は、アプリケーションセキュリティ対策製品を発表します。

従来からの主力製品である静的検証ツールFORTIFY SCA(エスシーイー)の機能強化をするとともに、新たに動的検証ツールFORTIFY Tracer(トレーサー)および攻撃防御ツールFORTIFY Defender(ディフェンダー)の2つの新製品をリリースします。

これら3製品によってフォーティファイが目標とする開発ライフサイクルの全ての領域において、アプリケーション自体を強くするソリューションが実現し、様々な企業のシステムで効果を発揮する製品群です。

<FORTIFY SCA 5.0>

アプリケーションのソースコードを解析し、脆弱性、堅牢性を対象にした200種類以上のセキュリティノウハウをベースに、問題点の可視化および修正に必要な情報を提供するコード解析ツール。全世界で260社以上の採用実績。従来の C/C++, JAVA/JSP, .NET 等の10言語に加え、新たに PHP, JavaScript, ASP, COBOL の4言語が追加されます。また分析エンジンの大幅な改良により、特に、C/C++の問題検出精度が飛躍的に向上します。さらに、開発プロジェクト内での分析、監査、修正というサイクルをチームとして解決することができるコラボレーション監査機能が提供されます。また、ルールやフィルターの作成が容易になり、各企業のポリシーやルールにあわせてSCAのカスタマイズが自在にできるようになります。本年12月に国際化対応済み英語版リリース、2008年1月に日本語版をリリース予定。価格は10ユーザー994万円から。

<FORTIFY Tracer 2.0>

Java および.NET のユーザーアプリケーションに対応しており、これら言語で開発されたアプリケーションの内部にテストモジュールを自動的に組み込み、通常の機能テストを実施することにより、セキュリティ上の問題を発見、可視化するための動的検証ツールです。従来のペネトレーションテストでは、テストシナリオやスクリプトを作成する手間がかかりますが、本製品は通常の機能テストで SQL Injection や Cross-Site Scripting などセキュリティ上の問題点を素早く見つけることができます。2008年1月にリリース予定。価格は1CPU200万円から。

<FORTIFY Defender 2.0>

Java および.NET のユーザーアプリケーションの内部に防御モジュールを自動的に組み込み、攻撃に対する防御やモニタリング機能を提供します。全世界で20社以上の採用実績。ユーザーアプリケーションの構造を分析し、危険な箇所を判定、防御機能を付加するため、ユーザーは難解な設定作業を必要とせずにユーザーアプリケーションの脆弱な部分を補完することができます。従来の WAF や IPS など比較して、設定が非常に簡易でありながら、各アプリケーションの特性に合わせたきめ細やかなルールが自動的に設定されるため、運用・管理の負荷を軽減しながら、強力にアプリケーションを攻撃から防御します。12月中旬よりリリース予定。価格はモニタ版15万円、フル機能版120万円から。

◆フォーティファイ・ソフトウェア株式会社について

米国フォーティファイ・ソフトウェア 100%出資の日本法人。米国本社は 2003 年に米国を代表とするベンチャーキャピタル「クライナーパーキンス」により創業。日本法人は 2006 年 3 月に設立し、日本語製品を同年 7 月よりリリース。現在 10 社のセールスパートナーとともに国内の販売活動を行っています。

<http://www.fortifysoftware.co.jp/>

本資料に関するお問い合わせ
フォーティファイ・ソフトウェア株式会社
事業企画本部 奈良原 智明
(narahara@fortifysoftware.co.jp)
TEL 03-5405-1707 / FAX 03-5405-3767